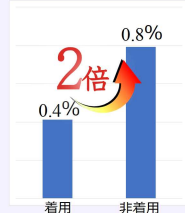


自転車乗用時のヘルメット着用が

努力義務となりました。

(令和5年4月1日から)

ヘルメットの被害軽減効果
(ヘルメット着用・非着用の致死率)



ヘルメット非着用の致死率は着用
の場合の2倍です。

注：致死率とは、死傷者のうち
死者の占める割合をいう。

帽子タイプ



おしゃれなデザインの
ヘルメットが増えています。



令和4年の自転車乗用中の
交通事故死者 8人中6人が
高齢者で、全員がヘルメット
非着用でした。

ヘルメットを着用し、
命を守りましょう。

夜間徒歩で外出するときは、反射材を着用

車のライトに反射してドライバーから発見されやすくなります。



たすき型・バンド型
ランニングやウォーキング
をする方にピッタリです。



シール型
靴のかかとと側面に貼
れば、後ろや横から来
る車からよく見えます。



キーホルダー型
バッグなどに付け
ておくだけで安全
です。

シニアドライバーの

注意するポイント



事故防止や被害軽減につながる
安全運転サポート車「サポカー」を推奨しています。

シニアドライバーの特性



- ◆ 視力等の低下により、危険の発見が遅れがちになります。
- ◆ 反射神経が鈍くなり、とっさの対応が遅れやすくなります。

注意すべきこと



- ◆ 速度を落として慎重に運転しましょう。
- ◆ 交差点では、必ず安全確認し、車、自転車、歩行者の見落としを防ぎましょう。

運転に不安を感じたら、相談ダイヤル「# 8080 シャープハレバレ」にご連絡ください。

長野県警察